

UNISONプロジェクト：母校訪問プロジェクト参加要綱

1. 母校訪問プロジェクトの意義

UNISECの活動の柱の一つとして、「アウトリーチ」があります。UNISECのアウトリーチ活動とは、簡単に言ってしまえば広く一般の人に私たちの携わっている活動について伝え、知ってもらうことです。

大学の研究室のレベルでもできる宇宙開発が存在するという事実を、世間の大部分の人は知りません。宇宙を身近に感じてもらうことは、宇宙開発について考えてもらう第一歩です。

幸い私たちは学生で、国の宇宙機関に比べれば一般の人たちに近い位置にいます。私たちが語りかけることによって、多くの人たちは興味を持って支援してくれます。まず、知ってもらうことが大事です。

このプロジェクトは、何もアウトリーチだけが目的ではありません。高校との交渉や発表の準備などを通して、さまざまなことを学ぶことができます。プレゼンの練習にもなるし、自分の活動を振り返るいい機会にもなります。そして何より、自分の活動に後輩たちが目を輝かせながら興味を持ってくれることは、非常にうれしいものです。彼らがこれをきっかけに宇宙開発に興味を持ち、UNISEC・UNISONの一員となっていくような流れが起こってくれば、このプロジェクトにとってこれ以上の成功はありません。

あなたが準備に割く時間は決して無駄にはなりません。母校訪問を終えたとき、きっとあなたの中で貴重な経験になっているはず。多くの方のみなさんの参加をお待ちしています。

注意：プロジェクト名は「母校訪問」とされていますが、必ずしも実際の母校である必要はありません。また訪問対象は高校を基本としますが、中学校、あるいはその他の学校、または一般の団体などであっても構いません。また、訪問形態につきまして、全体講義のような形ではなく、少人数を相手にするという形であっても構いません。その他、詳細は母校訪問プロジェクトのWeb (<http://www.unisec.jp/unison/almamater.html>) を参照して下さい。

2. 参加資格

訪問時にUNISEC加盟団体に所属する学生であること。

自分の研究・プロジェクト活動に誇りを持ち、後輩たちに紹介したいという熱意があること。

3. 母校訪問実施の際に行うべきこと

母校訪問実施に際して、以下の作業をお願いすることになります。

- ・ 応募用紙の提出（母校訪問HP上にて公開してあります）
- ・ 訪問先でのアンケート（フォーマットは自由、見本は提示します）
- ・ 訪問後、速報文・写真の提出（フォーマットは用意します）
- ・ 簡単な報告書の提出（フォーマットは用意します。報告書には会場の雰囲気分かる写真も添付してください）

訪問が決まった時点でUNISECホームページのトップページにあるUNISEC NEWSに訪問日・訪問校・訪問者名を、訪問後には提出頂いた速報・報告書を母校訪問プロジェクトのホームページ内に掲載します。各掲載の際には訪問者名を母校訪問の申請者名で統一します。申請者の所属団体名や研究室名のみでの掲載はできませんので、あらかじめご理解をお願いします。また、訪問時の同行者名を記載したい場合には、報告書内に記載をお願いします。

4. 計画から実行までの流れ

実施期日の設定

まず、訪問先にコンタクトをとって、実施期日を決定します。先輩が話をしに行くような機会がある高校は多いの



で、それを狙ってもいいかもしれません。もし、ここで実施不可能になってしまった場合にはご連絡ください。
また、交渉に際して、テンプレート等を用意してあります。詳しくは、alma_mater@unisec.jpまでご連絡ください。

UNISECから相手先へ資料の送付

担当者名義で、UNISECについて、プロジェクトの説明やご協力をお願いなどの資料を相手先に送付します。訪問先の許可をいただき次第、訪問先の連絡先などの情報を alma_mater@unisec.jp まで連絡してください。

準備

当日の発表に向けて各自で準備を進めてください。自分の活動を振り返るチャンスでもあります。相手は何も知りませんから、初めて聞く人にも分かりやすい発表になるよう心がけてください。ぜひ友人に聞いてもらって意見を求めましょう。また、これまでのプロジェクト参加者からアドバイスを受たり、見本として発表資料を見せてもらったりできるようにする予定です。分からないことがあったら遠慮なく質問・相談してください。

発表

高校生が「自分もやってみたい!」と思うような、魅力的な発表をぜひ行ってきてください。なお、あなたはUNISONの代表として相手先を訪問しますので、失礼のないよう行動しましょう。

- ・ 決められた時間内に収まるようにする。
- ・ 相手の立場に立って、分かりやすく発表する。

これは、学会の場にも共通することですね。なお、アンケートの配布、回収を忘れないようにお願いします。

速報・報告書・領収書の提出

感想やプロジェクトに対する改善意見などを簡単にまとめて頂きます。速報は発表当日もしくは翌日までに提出して頂きます。報告書(アンケート結果の集計も含む)は発表後10日以内に提出をお願いします。提出して頂いた報告書は、母校訪問プロジェクトのホームページに掲載致します。また、交通費の援助を受けた場合は領収書も提出してください。支払いは銀行振り込みで行います。

5. 交通費等の援助について

UNISONプロジェクトは仕事ではなく自主的な活動ですので、報酬は当然ありません。ただし、本当は母校訪問を行いたいのに、交通費がかかりすぎるために行えない、という人のために、交通費の援助制度があります。

ただし、これは遠方に出向かなければならない人のための制度であるため、近郊を訪問する場合にはできるだけ請求をご遠慮ください。また、1件あたりの最高援助額は3万円(同行者の交通費も含む)です。

同行者の交通費援助を希望する場合は、同行者が写真撮影を担当するなど必ずプロジェクトに協力することを条件とします。また、発表時の説明や展示に使用するロケットや衛星の輸送費、発表時に簡単実験を行う場合は、その消耗品代も援助出来ます。ただし、援助額は交通費・輸送費・消耗品代を合計して最高3万円までです。

最近では訪問の形態も多様化し、学校や一般の団体から発表依頼を受ける場合があります。そういった場合には、UNISEC参加大学・研究室の紹介を含む内容であれば母校訪問プロジェクトの一環として認めます(但し、発表資料は各自で準備して頂くこととなります)。また、依頼主から資金補助がない場合は、1万円を上限とする資金補助(交通費、その他雑費含む)を行います。もちろん、速報や報告書の提出は必須です。

交通費援助を希望される方は、応募用紙の該当欄に記入してください。なお、援助するにはUNISEC宛の領収書が必要となりますので必ず取得してください。

6. 応募方法

応募用紙に記入して、alma_mater@unisec.jp までメールに添付してお送りください。
その他何ありました、下記連絡先までご連絡ください。皆様の参加をお待ちしております。

プロジェクト代表：岡田悠図（筑波大学）
副代表：神保明菜（東海大学）
連絡先：alma_mater@unisec.jp